



国際ロータリー 第2570地区 新座ロータリークラブ会報 2025～2026年度

第1906号

NIIZA Rotary weekly

令和8年3月5日 発行

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツォ ～良いことのために手を取り合おう～

第2570地区ガバナー 相原 茂吉 『クラブ強化と活性化のために行動してください』

会長方針 森 克巳 『楽しく奉仕！ 未来に繋ぐロータリーの輪』



会長 森 克巳 副会長 鈴木 明子 幹事 松岡 昌宏

第2297回例会 2月第3週 2月13日(金)

講演会 『第14回 薬物乱用のない社会をつくるために！』

講師:NPO法人 埼玉ダルク 代表 辻本 俊之氏

於:新座市立第六中学校



開催の挨拶

新座ロータリークラブ 会長 森 克巳



本日はお忙しい中、私ども新座ロータリークラブ並びに新座こぶしロータリークラブが推進しております講演会「第14回薬物乱用のない社会をつくるために！」にご参加頂き誠にありがとうございます。また、本講演会の開催にあたり各関係者の皆様に多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

私たちロータリークラブは「世の中のために、よいことをしよう」を合言葉に、さまざまな奉仕

講演「第14回 薬物乱用のない社会をつくるために！」

日 時 2026年2月13日（金）14時40分～15時30分
 場 所 新座市立第六中学校体育館 全生徒667名
 〒352-0023 新座市堀之内3丁目11番地1号 【TEL】048(478)2764
 議 題 「薬物乱用のない社会をつくるために！」
 講 師 NPO法人 埼玉ダルク 代表 辻本 俊之氏
 主 催 新座ロータリークラブ・新座こぶしロータリークラブ・新座市立第六中学校
 後 援 新座市・新座警察署・新座市教育委員会

タイムスケジュール

(敬称略)

司会進行	新座市立第六中学校教務主任	畑 直樹
14:40 開会の挨拶	新座市立第六中学校教務主任	畑 直樹
開催の挨拶	新座ロータリークラブ会長	もり かつみ
来賓挨拶	新座警察署生活安全課課長	森 克巳
登壇者紹介	新座市立第六中学校教務主任	くらもち たかしげ
講師紹介	新座こぶしロータリークラブ会長	倉持 高成
講演 演題	「第14回 薬物乱用のない社会をつくるために！」	はた なおき
講師	NPO法人埼玉ダルク 代表	畑 直樹
お礼の言葉	新座市立第六中学校生徒会長	やまだ いちろう
15:30 閉会の挨拶	新座市立第六中学校校長	山田 一郎
登壇者（紹介のみ）	新座市教育委員会教育相談センター室長	つじもと としゆき
	新座ロータリークラブ幹事	辻本 俊之
	新座こぶしロータリークラブ幹事	さかぐち ありき
	新座ロータリークラブ青少年奉仕委員長	坂口 有紗
		なかじま ゆたか
		中島 豊
		坂根 英子
		松岡 昌宏
		戸高 健司
		小泉 哲也



「もし薬物に手を出したら、行き着くところは精神病院、刑務所、死・・・です」の言葉は、全校生徒の胸に強く印象に残ったことでしょう



新座こぶしロータリークラブ並びに新座ロータリークラブの会員の皆様数名の方は諸事情によりお帰りになりました

活動を行っている団体です。その活動の柱の一つが、青少年育成事業であり、本日の薬物乱用防止講演会もその大切な取り組みの一つです。

この講演会は、新座市内の中学校を毎年一校ずつ訪問し、今年で14年目を迎えることができました。なお、今年度からは、より多くの生徒の皆さんにお伝えできるよう、年に二校ずつ実施する予定としております。

皆さんもテレビやニュースで目にしていると思いますが、現在、違法薬物の問題は決して他人事ではありません。また、医薬品の過剰摂取、いわゆるオーバードーズも深刻な社会問題となっています。今の社会には、気づかないうちに薬物へと引き込まれてしまう多くの「落とし穴」が存在しています。本日の講演をしっかりと聴いて頂き、興味本位や軽はずみな気持ちで薬物に手を出すことが、どれほど危険で、取り返しのつかない結果を招くのかをぜひ心に刻んで下さい。そして皆さんには、自分自身を大切に、夢と希望に満ちた輝かしい未来を歩んでいってほしいと心から願っております。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

来賓の挨拶

新座警察署生活安全課 課長 倉持 高成



本日の講演開催にあたりご尽力して頂いたすべての方々に感謝申し上げます。このような有意義な機会にお招き頂き感謝致します。

第六中学校の生徒の皆さん。法律で禁止されている薬物には絶対手を出さないで下さい。

20歳未満の者がタバコを吸ったり、お酒を飲むことは法律で禁止されています。もし先輩や友達に誘われたら、皆さんははっきり断れますか？

私から、皆さんに「お願いしたいこと」があります。それは「相談をする」という事です。

薬物に誘われたり困っているときは、先生や家族

警察など信頼できる大人に相談して下さい。

「埼玉県警察少年サポートセンター」等、相談窓口も色々あります。皆さんはこれから社会を担っていく大切な存在です。心も体も健康に成長してほしいと切に願っております。

皆様方には引き続き、警察活動へのご理解ご協力を宜しくお願い致します。

講師紹介

新座こぶしロータリークラブ 会長 山田 一郎



本日は第六中の1年から3年生までの全員の方に、聞いて頂きたい重要なお話です。

覚せい剤大麻ドラッグ等の薬物乱用の無い社会をつくる為に、日夜日本中の青少年に警鐘を鳴らし薬物中毒の恐ろしさを伝えて22年間、NPO法人埼玉ダルク代表の辻本俊之様をご紹介します。辻本俊之様本人の、覚せい剤薬物中毒の実体験をもとに、薬物中毒依存症の苦しさや怖さ、若い皆様に同じ事をさせたく無いと言う思いで講演をして頂きます。この講演を聞き、自分は絶対やらないと心に誓う、本日の講演の場にして頂きます。約1時間自分の一生を左右する、重要な時間としてお聞きください。宜しくお願い致します。

お礼の言葉 生徒会長 坂口 有紗



本日はお忙しい中、新座市立第六中学校にお越

しつこくありがとうございます。私は今まで薬物についてあまり深く考えたことがなく、自分には関係ないと思っていました。しかし、今回の薬物乱用防止教室を通して薬物の依存性や危険性について詳しく知ることができました。これを機に、絶対に手を出さない決意を固めるとともに、周りの友達や家族にも正しい情報を伝えていきます。改めて本日はありがとうございます。

生徒さんの感想

7・8・9組

断る勇気が必要だし、まわりの人も巻き込んで考えて行動する必要があると感じました。自分の道を決めるのは自分だけど、正しい道に向かうのに友達が必要だと話を聞いて思いました。

3年生

今日の講話を聞いて薬物乱用の怖さを改めて知りました。薬物乱用は恐ろしいこと、犯罪になることだと知っていたけれど、実際におこる自分の心と体におこる変化、これからの人生を大きく変えることだと考えさせられました。これからの生活でかぜ薬などを使う時は自分が使う分だけを使うところがけて規則正しく使おうと思いました。

もし、孤独や劣等感を感じていても薬物には頼らないようにしたいと思った。今まで何回か薬物乱用防止教室を受けてきました。今回も自分は薬物乱用をしないと心に決めましたが何より心から信頼できる友達を作ることが大切だと学びました。

私は、もし誘われても断ることが出来るから大丈夫だと思っていたけれど今日の話を聞いて自分だけではなく周りや家族などの環境もとても大切だと思いました。友達という存在は簡単そうだが自分を守る大切な存在であることが知れた。自分だけでなく周りも大切にしていきたいと思いました。辻本さんの話がとても心に残り、いろんな話が聞けて良かったです。

絶対に薬物乱用しないようにしたいと思った。身の周りの人が薬の使い方を間違っていればちゃんと教えたいと思った。普通のかぜ薬でもルールを守らないと乱用することになってしまうからちゃんとルールに従って薬を使いたいと思いました。

2年生

今日の講話で真の友達を作ることの大切さや、薬物乱用をしてはいけない理由を改めて知ることができた。また、薬物乱用をすることでできるはずだったことができなくなり自分の気持ちに逆らって続けてしまうことが分かった。この講話を通して友達と本音を言い合える関係を作っていくことが大切だと思った。

自分の環境によって薬物との関係はだいぶ変わってくるのだろうと感じた。人に薬物を勧められたことがないので、自分が実際に心の底から大好きだと思っている友達が、大切にしたい家族や友達が違法な薬物を利用していたら果たして本当に立ち止まれるかどうか分からないと思ったのが一番怖かった。それでも泣き落としてでも止めてあげたいと感じた。

自分が昔、薬物に手を出し依存症になったことを話すのは簡単なことじゃないと思ったからこそ今日話してもらった経験を大切に薬物の怖さを周りにも伝えたり、自分自身も薬物に手を出さないと言う思いを大切にしていきたいと思いました。また最後の方に話をしてもらった薬物依存症の友達が知り合いがいたらどのように対応するかについても深く考えていきたいと思いました。

今日の講話では薬物を勧められてそれを使用した時に幻聴が聞こえ行き着く果ては精神病院、刑務所、墓場と聞いて薬物が絶え間なく広がるのは人から人に薦められていることが大きいと思った。自分は他人から誘われても断り薬物との関わりを十分に気をつけていきたいと思った。

1年生

アルコールやタバコに中毒性があることは知っていたけれど風邪薬などの薬もルール違反をしてしまうと薬物乱用になることを知りました。自分の生活のためにもルールを守ったり、薬物に関わらないようにしたいです。

薬物に手を出さずきっかけとしてストレスなので余裕がなくなったりするのが関係しているから普段から心の余裕を持って生活をしようと思った。

薬物の危険性、一度辞めてもまたもう一度繰り返してしまうため、やめたくてもやめられない薬物の依存性があるので最初の1回には絶対手を出さないようにしたいと思いました。学校で孤独だなと寂しいなど感じてしまうことは自分にも友達にもあると思うから、自分や友達を大事にしていきたい。講話の情報を周りに伝えていきたい。

<http://www.niiza-rc.jp>